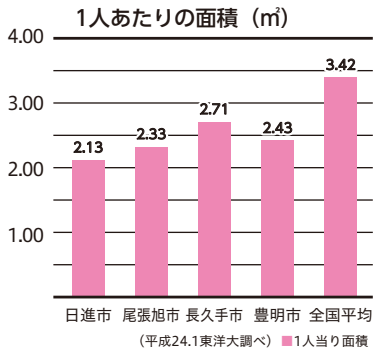


●床面積比較グラフ

近隣市町や全国平均と比較しても多くはありませんが、人口減少に伴い、利用者も減り、維持管理に係る負担も増大します。



豊明市が保有する公共施設の延床面積は、約16万6000m²、市民1人あたり2・43m²です。

豊明市の公共施設は多い？少ない？

みんなで考えよう！

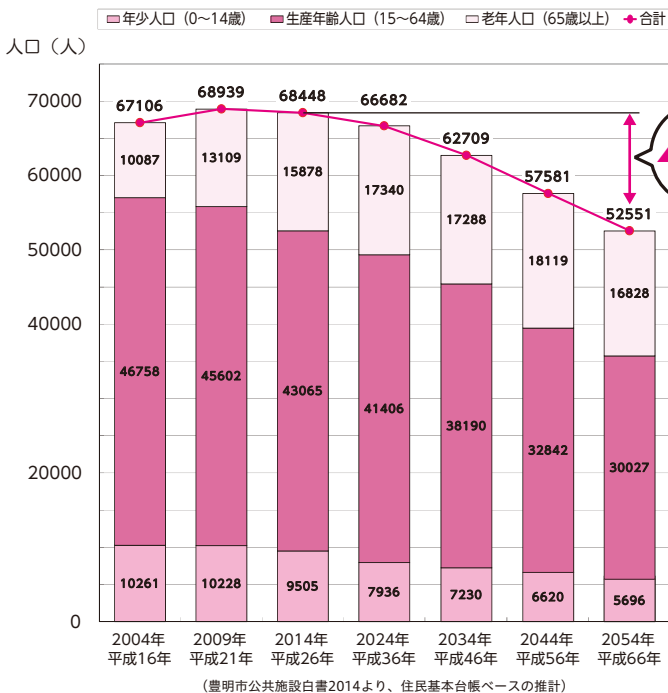
公共施設の未来

企画政策課経営管理係

☎0562・92・8318

vol.2

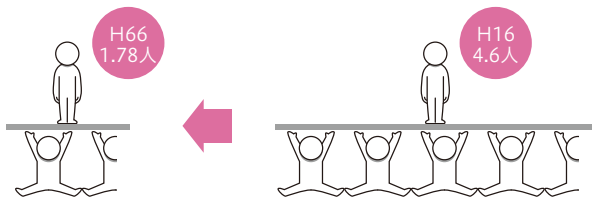
●人口の推移



豊明市の人口は、平成21年の6万8939人をピークに減少傾向にあります。平成66年には5万2000人程度まで減少すると推計されています。

年齢構成別に見ると、財政負担の担い手である生産年齢人口が急速に減少することが予想されています。一方で、老年人口は平成56年までは増加する見込みで、社会保障費の増大が懸念されます。

人口減少に伴い、公共施設の1人あたりの面積は増大し、私たちの子どもや孫たちが社会保障費の負担と施設の維持管理費の負担をすることになります。「豊明市公共施設等総合管理計画」では、公共施設の面積を30%縮減することを目標とし、将来世代に大きな負担をさせないための方策を検討していきます。



平成16年当時は現役世代4.6人で1人の高齢者を支えていましたが、現在は2.7人で1人、40年後は1.78人で1人を支えることとなります。